

## リニア中央新幹線は必要か？

3月28日 王子「北トピア・飛鳥ホール」において、「リニア・市民ネット」（代表・川村晃生慶大教授）主催によるシンポジウム「リニア中央新幹線は必要か？」が開催されました。

シンポジウムは法政大学・五十嵐敬喜教授の基調講演「公共事業は変わるか」で始まり、川村代表をコーディネーターに6名のパネラーで「リニアの建設に対し電磁波や環境破壊さらには安全の問題」などが議論されました。会場からは、パネラーの提起に対しての質問がよせられ緊張感のある討論が展開されました。

JR東海労鈴木委員長もパネラーの一員として登場し、労使協議での会社の対応や労働組合としての「リニア中央新幹線構想」に対する基本的な立場などが話されました。

電磁波環境研究所の荻野晃也所長は電磁波が人体に与える影響を指摘し、常に電磁波の影響を受けている私たちにとっては、ショッキングなものでした。

最後に「拙速な事業の推進に歯止めをかけなければならない」との集会宣言を採択し、シンポジウムは成功裡に終了しました。



五十嵐先教授



電磁波について説く荻野所長



JR東海労鈴木委員長



パネラーのみなさん